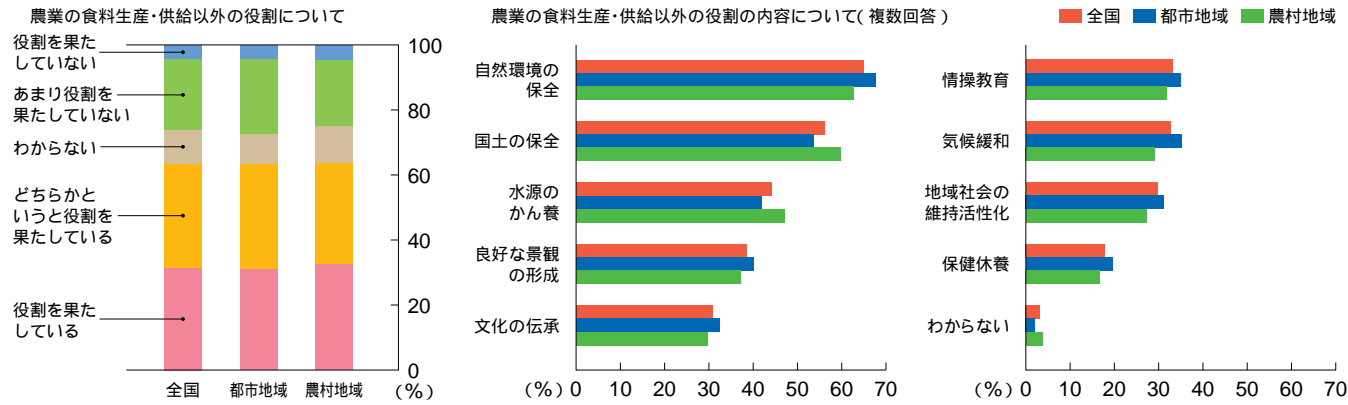


農業は水資源や有機性資源などの循環の中で生まれ、多様な生き物を育てています。

農業は食料を生産するだけでなく、国土を守り、水を育むとともに、豊かな生態系や良好な景観を形成するといった「多面的機能」を持っています。

水田を中心としたかんがいシステムでは、河川の水は用水路を経て一時水田に貯えられ、ゆっくりと地下水をかん養し、さらに河川に環流されるという動きを、流域内で何度も繰り返しています。

農業の有する多面的機能に関する国民の意識



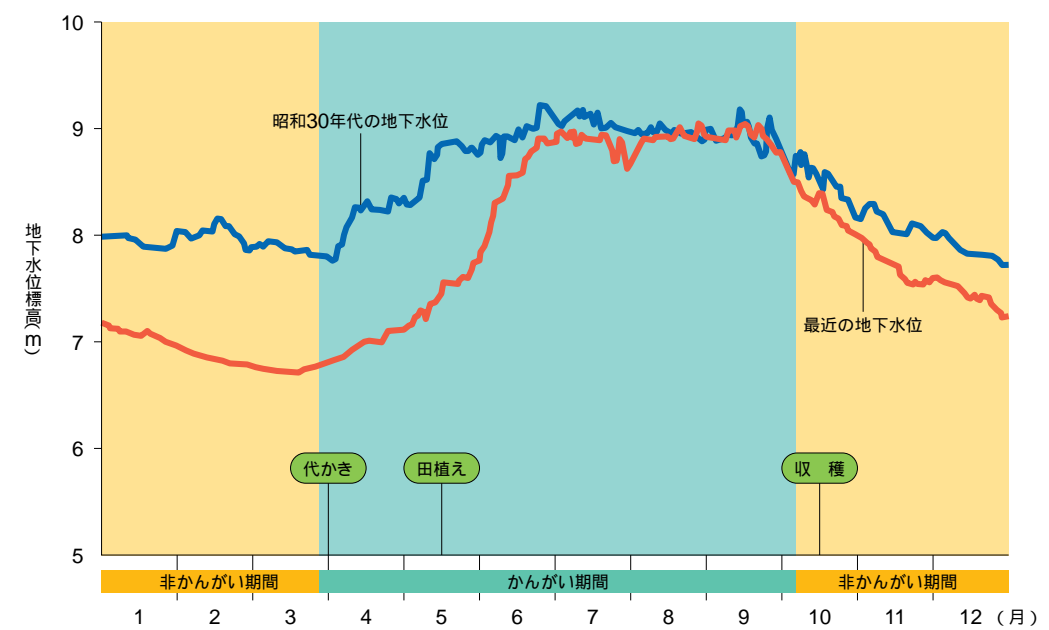
資料) 総理府「農産物貿易に関する世論調査(平成12年7月調査) 全国の20歳以上の者5,000人を対象とし、回収率は71.4%(3,570人)である。図中の「都市地域」及び「農村地域」は、調査上便宜的に区分した回答者の住居地域を示し、前者は平成7年国勢調査区のうち市部の人口集中地区、後者は同調査区のうち市部及び郡部の非人口集中地区である。

水田農業は、地下水をかん養するなどにより健全な水循環を構築し、下流の都市住民の生活用水利用等を可能にします。

愛知県の濃尾平野では、地下水の水位が水田の湛水が始まる4月下旬から上昇し、湛水を終える10月ごろから低下していることが示すように、水田からの浸透水が、地下水のかん養に大きく貢献しています。

しかし、水田の減少が地下水位の低下に影響し、地下水の最低水位が、昭和30年代に比較して1m程度低下しており、水田の維持が重要となっています。

地下水水位の変化(愛知県一宮市高田地点)



昭和30年代の地下水水位は、観測が行われた昭和34年、36年、38年、39年の平均水位を示す。最近の地下水水位は、平成7年～平成11年の平均水位を示す。資料) 農林水産省調べ



濃尾平野における地下水のかん養

